

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

それは、ルーヴルが誇るもうひとつの作品。

TOSHIBA LED
at
LOUVRE

17世紀後半、この街は、光を手に入れました。セーヌのほとりに、広場につづく通りに。

街の角々にあかりが灯り、いつしかパリは『光の都』と呼ばれるようになりました。

2012年5月、ルーヴル美術館ナポレオン広場、LED全面点灯。

東芝は、世界文化遺産でもある伝統的な景観を守りながら、ルーヴルの姿をより美しく描き出すあかりを追求。

これまでLEDには難しかった「やわらかなあかり」を実現し、

これからの時代にふさわしい環境負荷の低い、独自のLED照明を開発しました。

光の都に灯った、新しいあかりの芸術。

東芝とルーヴルからの未来への提案です。

美しい色の再現性と、消費電力73%削減を実現。

*現行の照明器具4500台(消費電力量392,000Wh)を当社LED照明器具3200台(消費電力量105,000Wh)に置き換えた場合の比較。注:今回、設置するLED照明器具はルーヴル美術館の協力を得て開発した専用照明器具です。

Pyramide du Louvre - Architecte I.M. Pei



2012年5月 ルーヴル美術館ナポレオン広場、東芝のLED全面点灯。



東芝グループは、持続可能な
地球の未来に貢献します。